

# レンガ風タイルの施工ガイド

軽量で加工が簡単なレンガ風タイル「ブリックタイルシリーズ」の施工方法（※屋内用）をご紹介します。通常のタイルやレンガをスライスしたタイルは重量が重く、施工方法が異なりますのでご注意ください。



※本資料は、あくまでも施工の参考資料としてご利用下さい。現場の状況に応じて、施工方法が変わる場合もあります。また、本資料を元に施工された際に起きた事故、施工不良等については、一切の責任を負いませんので、ご自身の責任のもとDIYにチャレンジしてください。

※当社の許諾なく、この資料の一部又は全部をそのまま又は改変して転載・転用・送信・配布・編集・複製により利用することは、メディア・手段の如何を問わずご遠慮ください。

# 1

## 道具の準備

こんな道具を使います



### 貼り付けに使う道具

- のこ
- ヘラ
- メジャー
- 墨壺や糸などがあると便利。
- 板 (端材で OK)

### 目地入りに使う道具

- バケツ
- 目地袋
- しゃもじ
- 目地こて

### その他の道具

- 養生テープ
- 手袋
- 汚れても良い服
- ぞうきん
- マスク
- タッカー
- 保護メガネ



#### 【へら】

タイルに接着剤を塗布する際に使います。大きさもいろいろありますので、使いやすい大きさを選びましょう。



#### 【のこ】

レンガタイルを加工するためにのこを使います。塩ビパイプ用ののこを使うとよく切れ、刃が長持ちします。



#### 【目地袋 (絞り袋)】

目地入りに使うのが絞り袋です。練り混ぜた目地材をこの袋の中に入れ、タイルの目地に絞りながら入れていきます。がんばりにできた専用の絞り袋があります。



#### 【目地こて】

目地を仕上げる (押さえる) 際に使うのが目地こてです。細いものから太い物まで、いろいろな幅があります。目地の大きさにあわせて、サイズのあった目地こてをつかうと綺麗に仕上がります。



#### 【養生テープ】

予め、汚れそうな部分は養生テープやマスキングテープを使い養生しておきましょう。また、マスキングテープはタイルを張り付けるきわの部分を綺麗に仕上げるためにも使います。



#### 【タッカー】

おっきいホッチキスの芯のような物で、いろいろな物を固定する道具です。クロスの剥がれを防止するのに使います。

## 2

## 下地の確認

下地の種類、材質、状態などによっては、レンガタイルを貼り付けた際に接着不良を生じる可能性があります。失敗しないためにも、まずは下地の確認を行いましょう。

### ■クロスや塗装した面

クロスや塗装した面にレンガタイルを貼り付ける場合、クロス、塗装そのものが剥がれていないか確認します。もし剥がれそうな場合は、ケレンやサンダーなどを使い、あらかじめ剥がれそうな部分を取り除きます。又、クロスの場合には、全面にタッカーを打ち込み、クロスの剥がれを予防することも効果的です。

### ■石膏ボード

石膏ボードに貼りつける場合、ボードの継ぎ目にファイバーテープを貼り付けると、ひび割れ防止になります。ビスのパテ埋めはレンガタイルを張る場合にはしなくても大丈夫です。

### ■コンクリートやALC

コンクリートやALCに貼り付ける場合、あらかじめシーラー処理を行いましょう。また、貼る際には下地の目地とレンガタイルの目地を合わせることで、ひび割れを目地の部分に集中させることができます。

### ■ベニヤや木下地

ベニヤや木下地の場合、アクの防止、過剰な吸水を防ぐためにあらかじめシーラー処理を行いましょう。

### ■タイル

タイルの上からレンガタイルを貼り付ける場合、下地となるタイルが剥離した状態になっていないか確認します。小さなハンマーで軽く叩くと音の違いで、剥離しそうなタイルが分かります。剥離しそうなタイルがある場合には、そのタイルを剥がし、モルタルで平らに補修しておきます。また、カチオンシーラーなどの下地材で、レンガタイルを貼り付け可能な状態にします。



どの下地でも言えることですが、貼り付け前には、表面の清掃を十分に行ないましょう。油脂や埃などの付着物は、接着不良の原因となります。まずは、下地をしっかりと準備しましょう。

### 3

## 接着剤と接着力の確認

接着剤には屋内用の物、屋外用の物、屋内外の両方で使える物が売られています。また、下地の種類によっても専用物であったり、複数の下地に対応できる物まで様々な種類が有ります。

確実に貼り付けを行うためには、あらかじめテストを行うのがお勧めです。使用する下地に、購入した接着剤でレンガタイルを貼り付けます（2～3枚）。そして、貼りつけたレンガタイルを剥がし、簡単に剥がれるようだとNGということになります。

接着剤	室内用（参考）	コニシ（株） コンクリートボンド K-10 セメダイン（株） コンクリメント A （株）大建化学 ネオピタ # 99
	屋外用	市販の屋外タイル用接着剤はすべて対象となりますが、十分な接着強度を確保するために屋外用タイル専用ボンドを使用してください。

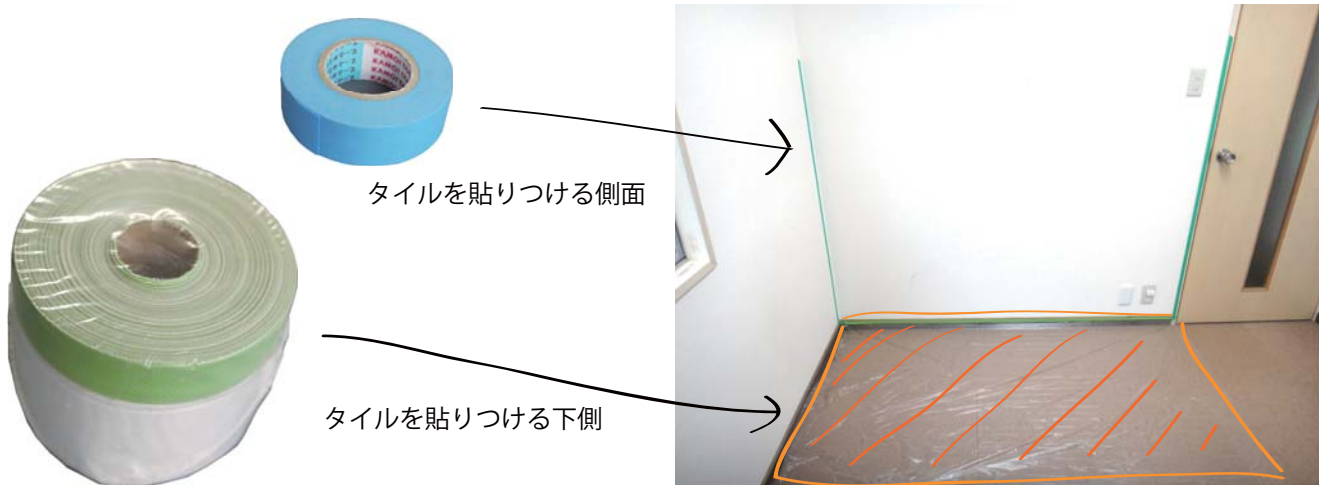
### 4

## 貼り付けの準備

### ・まずは養生

レンガタイルの貼り付け作業では、使用する接着剤や目地セメントにより、周辺を汚してしまうことがあります。市販のマスキングテープや、マスカークテープなどを使い、あらかじめ汚れが付着しそうな場所を養生しましょう。また、貼りつけの縁（エンド部分）にも、汚れ防止と、綺麗に仕上げるためにマスキングテープなどで養生を行います。

！ 特に目地セメントが垂れやすく床が汚れます！しっかりと養生しましょう。



## ・レンガタイルの割り付け

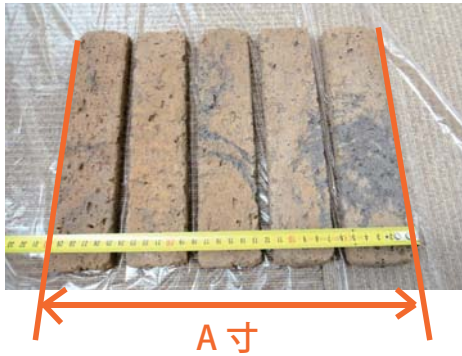
できればレンガタイルを綺麗に貼るために、予め割り付けを行いましょう。どのような目地幅で、縦横の枚数を何枚にするかを、貼りつける部分に予め割り付け（印を付ける）ておくことで仕上がりが綺麗になります。割り付けを行わないと、斜めになってしまったり、目地幅が偏ってしまったりする原因となります。できるだけ割り付けを行うことをお勧めいたします。

まず、使用するレンガタイルにを目地幅 10mm くらいの間隔で並べ、その高さ、横幅を測ります。そして、実際に貼りつける場所にどのように並べれば綺麗に収まるかを予め考えておきます。高さ方向にぴったり納まるのが理想なので、うまく高さが合わない場合には、目地幅を大きくしたり、小さくしたりして調整します。

だいたいの間隔が決まったら、貼りつける場所に、レンガタイル 4～5 段分の高さになるように水平にラインを引きます。鉛筆や、チョークなどでラインを引いてもいいですし、マスキングテープを水平に貼りつけて、それを目安とする方法もあります。（貼りつけた後に剥がします）。この水平のラインを目安に貼りつけることで、横方向に綺麗に貼りつけることができます。

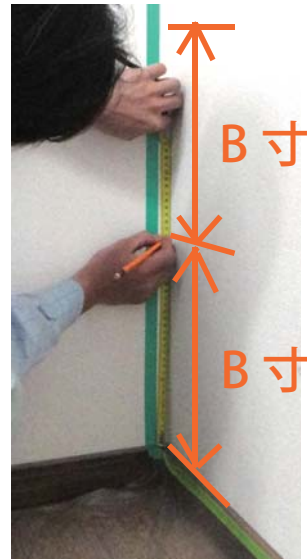
横方向は、両サイドに同じ大きさのタイルが入るようにタイルを並べ、それを目安に貼っていきます。

## 縦方向の割り付け

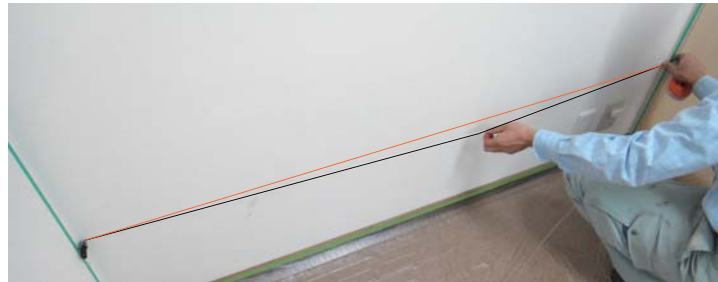


4枚～5枚のタイルを、好みの目地幅にした状態でタイルからタイルまでのA寸法を測ります。

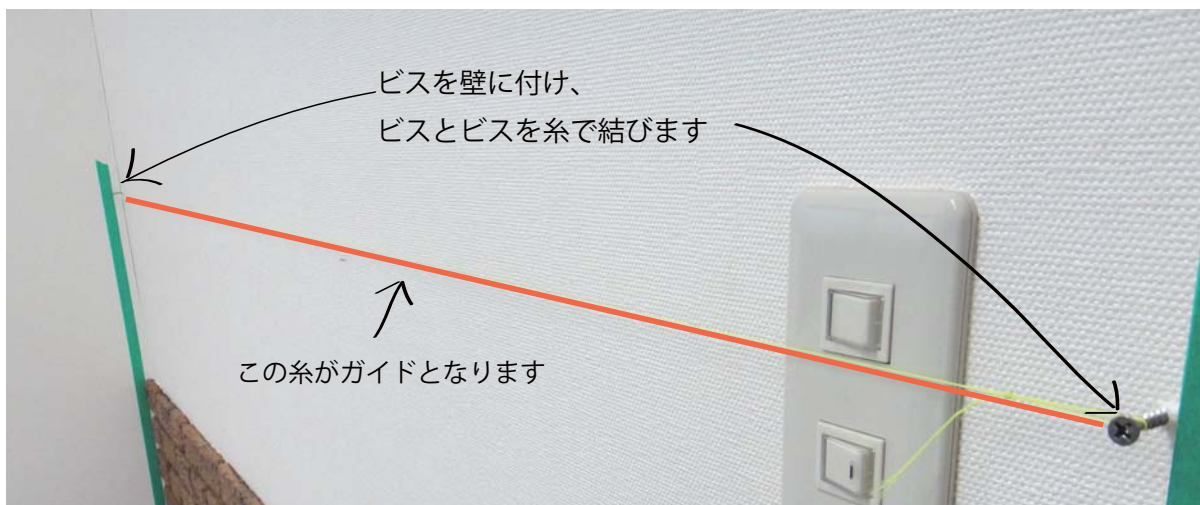
さらに、目地が入るので、 $A寸 + 目地幅 = B寸$ とします。



貼りつける場所にB寸で必要な高さまで、目印を付けていきます。片側だけでなく、両側に印を付けます。



両側の印をもとに、タイルを貼る際のガイドとなる、横のラインを付けます。  
長い定規でも良いですが、上記のように墨壺を使うと簡単にラインを付けることができます。



また、ビスと糸があれば、同じような横ガイドを作ることができます。

## 横方向の割り付け

貼りつける場所に、タイルを好みの目地幅で並べます。



端の部分に入るカット物が、両サイドでだいたい  
同じ大きさになるように並べれば OK です。



貼りつけは、並べた状態を参考にして貼っていきます。

## 5 貼り付け方法

貼り付け作業では、接着剤の表面が乾かないうちにレンガタイルを貼り付ける必要があります。また、貼りつけてすぐのレンガタイルは下にずれてくる場合があります。その場合、そのまま少し時間をおいて、ずれた物を正しい位置に修正する、といった作業を繰り返します。

屋内の場合、タイル側に接着剤を塗布して圧着します。貼りつける際には、しっかりとレンガタイルを押して、圧着させましょう。

### ※注意

屋外の場合、屋内の場合と同じ方法で貼りつけることもできますが、下地とレンガタイルの両方に接着剤を塗布するほうが安全です。高い場所へ貼りつける場合には、タイル貼りの専門業者に相談された方が良いでしょう。さらに、屋外の場合は特にビブラートなどを使用するなどしてしっかりと圧着させましょう。



ネオピタを板の上に出します。



タイルの裏に、接着剤を少し山盛りになるようヘラで塗りつけます。



ぐいぐいと動かしながら、押し付けます。



細かい部分も貼りつけます。



タイルの裏側からのこぎりでカットします。



ぐいぐいと動かしながら、押し付けます。



縦の割り付けラインまで貼ったら、正面と横から貼り付け具合を確認します。目地幅がおかしい部分や、タイルが斜めになっている部分を修正します。接着剤はすぐに固まらないので、あせらずじっくりと貼っていきましょう。





## バランスの調整

ある程度貼り付けたら、横からレンガタイルを見てみましょう。

横から見るとレンガタイルが真っ直ぐに貼れているかよく分かります。波打っている部分があれば、軽くたたいたりして、修正していきます。

(アンティークタイルの場合、レンガタイル自体が曲がっている物があるため、真っ直ぐにというよりも、だいたいのバランスでの調整になります。)



## 6

## 目地入れ

必ず必要な作業ではありませんが、レンガタイルに目地を入れると、雰囲気良く仕上がります。貼りつけ後、もうひと頑張りしましょう！一般的な目地セメントを使った方法をご紹介します。

## 目地材の練りこみ



練り混ぜには  
しゃもじが便利です！

バケツに目地セメントを入れ、水を入れながらかき混ぜます。目地セメント 1 kg (約 800 cc) に水 280g ぐらいが目安です。

味噌程度の硬さになるよう、練りこんでいきます。水が多すぎると柔らかくなりすぎてしまい、目地を入れる際に垂れてきます。柔らかくなりすぎたら、目地セメントを追加し、硬さを調節します。

### Point!

一度に大量に練ると手が疲れます。300g ~ 400g 程度ずつ練っていきましょう。

目地セメントはそのままでご使用いただけますが、50%程度の砂を入れても雰囲気良く仕上がります。



味噌程度の硬さに練りこんだら、目地袋に入れていきます。



目地袋の先端は先にカットを入れます。目地セメントを入れる際にこぼれるので、クリップなどで止めておくと安心です。

## 目地入れ



目地袋を絞り出すようにしながら、目地を入れていきます。

目地セメントがタイルに付着した場合には、濡れた雑巾で目地セメントを取り除きます。



## 目地の仕上げ

目地表面の仕上げとして、①絞り袋で目地材を入れたそのままの雰囲気ですべて仕上げる方法と、②表面を慣らす方法があります。

①の場合は、そのままですので、目地が乾いた後、はみ出した目地の部分や汚れを雑巾などで綺麗にして完成です。

②の場合、目地を入れてから20～30分(寒い場合、もう少し時間をおきます)して目地コテ、又は手で目地の表面を整えます。

目地が乾いた後、はみ出した目地の部分や汚れを刷毛や雑巾で落とし、完成です。



## ！ 目地材の処理方法

目地材は時間がたつと硬化します。余った材料は下水に流さず、ビニール袋などに移し、硬化したのちに燃えないゴミとして処分します。

## ！ 目地こては目地幅に合った物を使いましょう



幅の広いこては横方向の目地に使います。横方向の目地は長くなるので、先が長いこてを使います。また、アンティークタイルを使う場合は、目地幅の広い部分と狭い部分ができます。6mm や 4.5mm 幅の目地こてを上手く使い分けながら、目地を均していきます。



縦方向の目地を均す場合、先の長い目地こてでは均すことができません。そこで、先の短い目地こてを使います。均す面積は小さいので、幅の小さい目地こてで均すことができます。



## 目地の種類

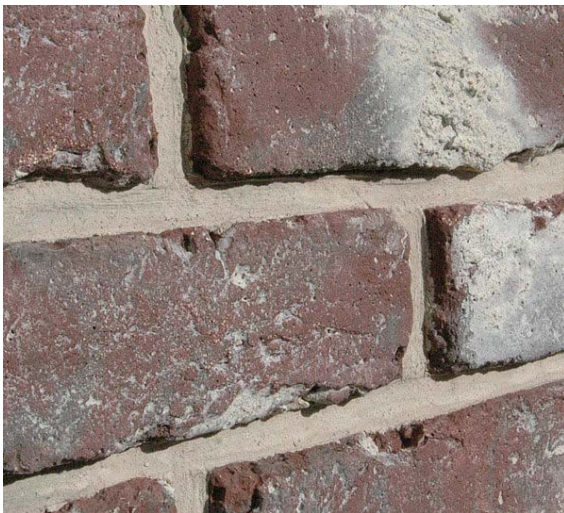
アンティークタイルは、特に目地の入れ方により雰囲気が変わります。目地にもいくつかの種類があるので、シチュエーションに合わせて使用することが大事です。尚、下の写真では、目地幅 1cm を基準としています。



### 浅目地

アンティークタイルならではの目地の入れ方です。タイルの厚さになるようたっぷり目地を入れ、表面は綺麗に仕上げず、適度（適当）にならします。アンティークらしい表情で、面白い質感です。

目地こては使わず、目地材を入れたそのまま仕上げます。



### 中目地

目地をタイルの厚さの半分くらいにするとバランスがとれた質感になります。また、照明などによる影の出方が少なく、アイボリー色などの目地を使うと明るい雰囲気になるので、室内にも向いています。

目地こてで均し、目地が固まった後で刷毛などを使い掃除をして仕上げます。



### 深目地

深めの目地にすると、タイルの厚みが強調されて、重厚な感じになります。目地が深いので、照明の取り方によって陰影が面白い表情を生み出します。ただ、バランス的に目地の部分が薄く感じられる場合もあります。

目地こてで均し、目地が固まった後で刷毛などを使い掃除をして仕上げます。

\* ホームページには動画もあります。

工房志楽のホームページには、レンガタイルを切ったり貼ったりする動画が掲載されております。レンガタイルでDIYをお楽しみください。

URL : <http://www.koubou-shiraku.com>

有限  
会社 **工房志楽**

〒731-3362

広島市安佐北区安佐町久地 251-209

TEL : 082-837-1521 / FAX:082-837-1571